



はるかな旅の向こうに

レアード作 石谷尚子訳 評論社

ぼくはオマル。シリアの町ボスラでの平和な生活は、政
府で働く父さんの転勤で一変した。引っ越し先の町で
は、政府軍と反政府デモ隊が対立。そんな時、ぼくは、脳
性麻痺で体が不自由な兄のムサがデモに関わっていると
知り、家族に内緒で手助けをすることになってしまった。

内戦が激化して田舎へ、そしてヨ
ルダンへと逃れたばかりの家族。難
民キャンプでの過酷な生活の中、ぼ
くはある商売を思いつく。

隣国に逃れながらも、希望を失
わずに生きる少年と家族の物語。

